

# みぶ町政だより

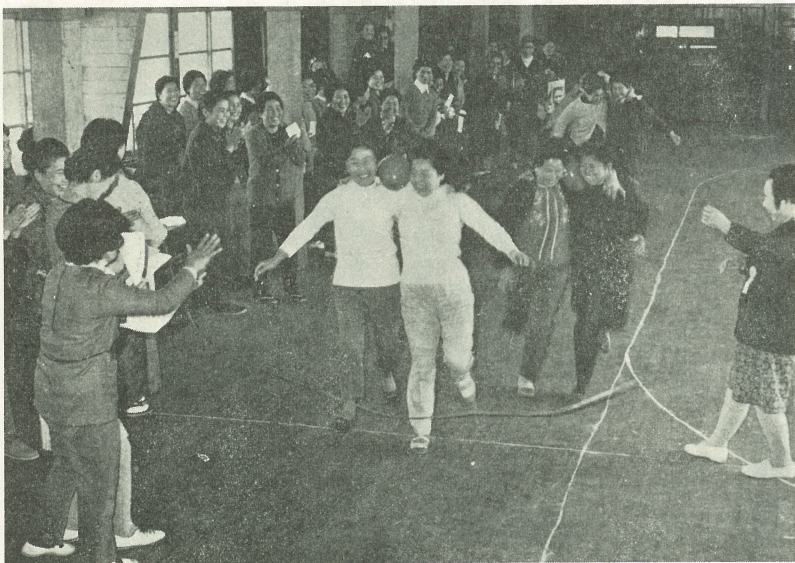


# 12月号

昭和46年12月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可 一部 9円10銭



## 大ハッスルするママさん

### — 婦人会レクリエーション大会 —

#### 今月の人口

総人口	26,463
男	13,127
女	13,336
世帯数	5,951

レクリエーションを通して会員の親ほくをと壬生地区婦人会(水野シナ会長)では、12月5日午前9時30分から会員約200人が集まり、中央公民館において、盛大にレクリエーション大会が開かれました。

この催しは、壬生町婦人会として初めての試みとして行なわれ、会員の親ほくはもちろんで、いつまでも若く美しく健康増進を図ろうという目的で企画されたもの。

大会は、赤白対抗戦によって進められ、ゲーム、対抗リレー、フォークダンスなど盛りだくさんのレクリエーションに、日頃家にとじこもりがちなおママさんたちは、この日ばかりは大ハッスルの楽しい一日でした。



壬生町の消防団の常時点検は、十二月一日午前八時から壬生小学校校舎裏の大勢の来賓を迎えて行なわれました。

この日は、三分団〇八名のほか役場職員消防隊十五名、計三十三名の団員が出席して服装の点検機械器具の点検、並びにポンプ操作法などが行なわれました。

放水試験は、上河原の東雲橋上流で全団が一斉に高々と放水。

その後、壬生中学校正門前で分機機点検する在籍消防防長たち

# 火災シースンに備えて消防点検

列行進を行いました。

また、この日名譽ある表彰を受けた方々は次のとおりです。

## 消防協会長賞

永年勤続  
第一分団長 梁島 安男  
第二分団長 高山 光明

## 下都賀支部長賞

功績賞 第一分団長  
松井晴夫ほか六名  
第三分団長  
中川勝明ほか十九名

## 壬生町長賞

永年勤続  
第一分団長  
梁島安男ほか一名

## 退団者感謝状

前団長田村宗市ほか  
五十二名

## 火災早期発見者

大栗統一(国谷)  
荒川一男(中界)  
高山正春(安塚)  
高山光明(一)

神永幸子(西郡)  
高久英夫(鹿島)  
山田晴夫(国谷)  
人見ハツ(上野町)

酒を飲んだらハンドル持つな

# 都市計画用途地域の縦覧おわる

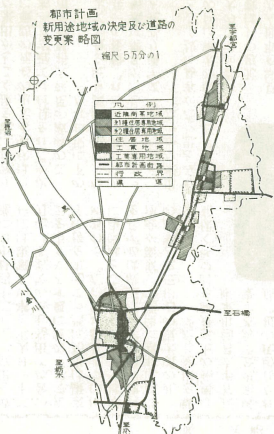
新しい都市計画が誕生し、法律の基となる市街化区域および市街化調整区域の線引きも去年の十月一日に施行され、市街化区域内の都市施設整備計画が着々と進められていきます。

その一つとして十一月二十日から十二月三日までの間、新しい用途地域、建築基準法の改正に伴うもの決定や都市計画道路の一部変更について、栃木県知事が定めるものを広く一般の縦覧に供しました。

新しい用途地域では、第一種住居専用地域(低層住宅に係る良好な住居の環境を確保するために定める地域)や第二種住居専用地域(住宅の高さは制限しないが良好な住居の環境を確保する必要がある地域)が新たに制定されました。

また、今回変更になった都市計画道路では、宇都宮と栃木線のうち、安塚地区内、バイパスが新設されに伴い安塚駅前計画道路が延長また、宇都宮と栃木線の終点が壬生今井から下川原まで西より延長されたのに伴い、東武壬生駅東口からの計画道路が変更となる予定です。

これは一般縦覧者の意見と町



# 知事賞に市川さんが入賞 人気あつた産業祭

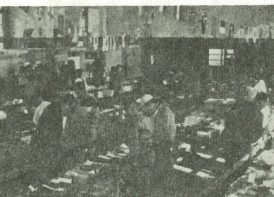
としての意見を栃木県知事がまとめた都市計画審議院にはかつて都市計画に重大な開進があるものについては修正等ほどこします。

第五回壬生町産業祭は、十一月二十六、二十七日の二日間行われ、中央公民館および壬生小校庭で盛大に開催されました。

この産業祭は、壬生町の発展をみちびき、さらに今後の方向づけをし、町民みなさんに新しい産業の展望と認識を深めてもらうこと目的として催されたもので

今回の出品展示は、農業の部では、穀類四六四点、そ菜一四四四点その他九三三点、肥育牛三十四頭、工部の部では、おもちゃなど一社から多数の出品があり、そのほか農機具展示、消費生活展がありました。

この産業祭に参観した人たちは延べ五、〇〇〇人ほどで、大変好評を得ました。そ菜などは安い値段



産業祭風景

すが、個人利害については訂正等は行なわない方針です。

また一般に決定した旨の告示や回覧がありますが、その時見落さないよう係ではお願いしています。



# あなたは火事の恐ろしさを知らない

これからだんだん寒くなり、空気も乾燥して火災のおきやすい季節となりました。

火の元には十分気をつけましょう。

火災というのは、家ごと灰になってしまいます。

火を出してからでは、もうおそすぎる

## スロガン募集

町民のみなさんの郷土愛と協力を待つ壬生町の発展を目ざして「明るく住みよい町造り」をしましょう。

町の環境などのイメージにマッチした創造性豊かな郷土建設のたのみにふさわしいスロガン(標語)を次の要領により募集します。ふるつてご応募ください。

★応募要領

壬生町に居住している人。または、壬生町に通勤、通学の人。

★応募方法

官製ハガキに一点を記入、住所、氏名、年令、職業、町外からの通勤、通学者は勤務先(学校名)をはっきり書いて、役場総務課広報係へ送ってください。

★締め切り

来年一月三十一日(当日消印有効)

# 壬生町の合い言葉を作ってみませんか

町で審査し、入賞者を本紙で発表し、一席一点に町長賞として賞金一万円、その他毎日新聞宇都宮支局長賞が、以下二席二席三席三席にそれぞれ記念品を贈ります。

★その他

くわしくは広報係へお問い合わせください。

★行なわれ、県でも企画したものです。

年末年始の交通安全運動



